

えい航時の注意事項！

荒天下でえい航中の漁船の転覆事故が発生しています！

平成28年12月、島根県松江市沖で僚船にえい航されていた漁船が転覆し、乗組員4人が死亡5人が行方不明となる事故が発生しました。

この転覆事故は、風や波の影響のほかに、えい航ロープの長さが不十分で、ロープによる力が船に伝わりやすい状態でした。また、えい航されていた漁船は、甲板上に設置していた水槽の影響等により、復原性が低下した状態でした。

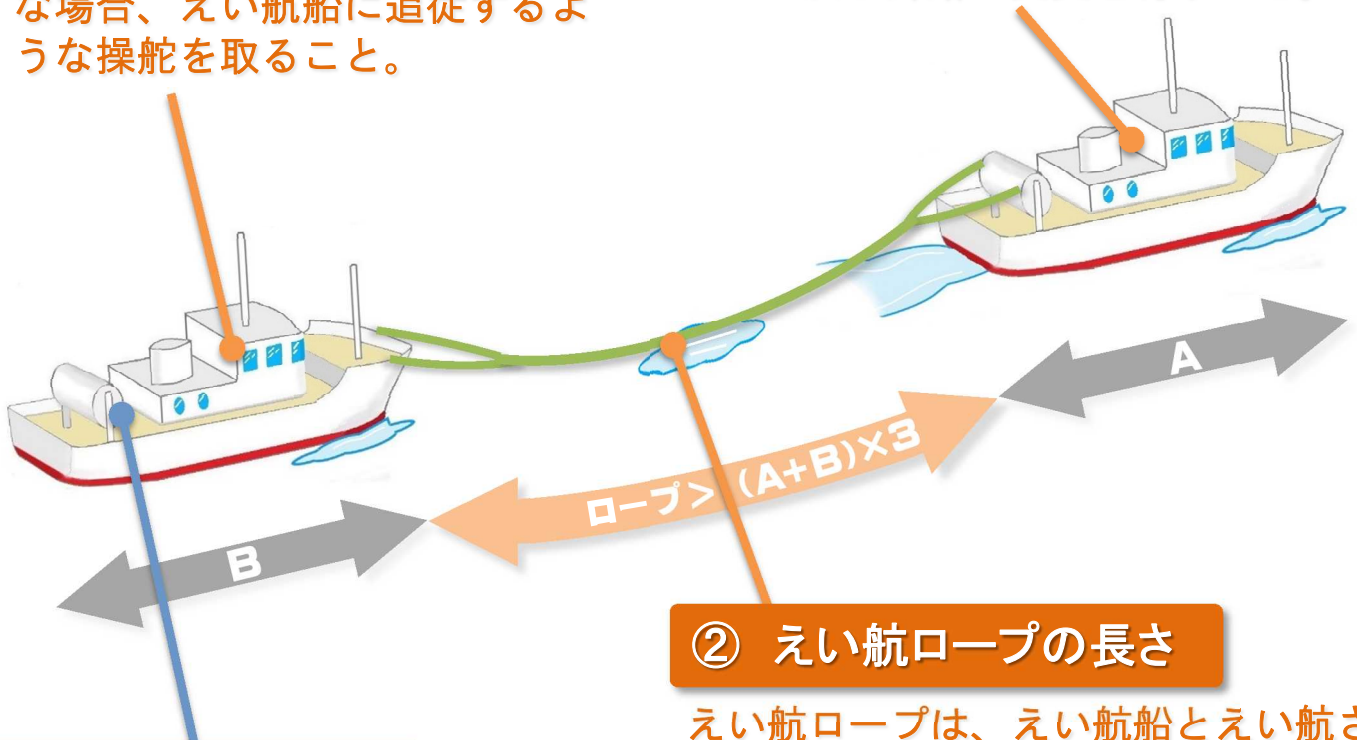
本事例の調査報告書は当委員会ホームページで公表しております。（平成29年11月30日公表）
http://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2017/MA2017-11-1_2016tk0016.pdf

③ 追従するような操舵

えい航される船は、操舵が可能な場合、えい航船に追従するような操舵を取ること。

① 見張り員の配置

えい航船は、見張り員を配置し、必要に応じて減速及び針路の変更を行うこと。



④ 復原性の考慮

船舶所有者は、復原性を考慮し、構造物等を設置する場合は、十分に検討すること。

② えい航ロープの長さ

えい航ロープは、えい航船とえい航される船の全長の和の3倍の長さを目安とし、えい航ロープの一部が水面につく状態にすること。